

## 第 3 回 市東ブロック役員会 議事録

日 時	令和 2 年 9 月 25 日 ( 金 )	司会	書記
場 所	中央訪問看護ステーション 会議室 (少人数会議) 18:00~	箕迫	大賀
出席者 (敬称略)	山崎、若林、箕迫、大賀、森本		
議 題	市東ブロックの活動について		

### 1、ZOOMの有料契約について (使用料は1か月2000円)

アカウント管理:アカウントはメールアドレス、その年度の副ブロック長が契約して1年間管理 (今年度10月からは副ブロック長大賀さんが契約)

9人のホスト:協力ステーション7名とブロック長、副ブロック長、役員会のスケジュールは箕迫さんがホストとなる。

利用方法について:使用していない空きの時は区単位で使用は可能。個人使用は不可。使用カレンダーは契約者のみが確認できる。

### 2、MCSの情報共有について (全会員STの参加の検討、防災情報をどうするのか)

区により情報共有の方法が違い、全130ステーションあり、ステーションによってはアドレスなどの件でMCSが使用出来ないところもある。

↓

そこで、市東ブロックとしては役員のみMCSグループとする。→各役員が区のステーションに連絡  
(現状通りで) \*役員はいいね! ボタンを押すこと

### 3、ブロック活動について (事例発表が例年と変更になり、研修がなくなった。)

・教育ステーションの年内の活動は11月末か12月頃、各区の協力ステーションで2回あり、本部の研修、災害研修をZOOMで実施。教育ステーションに交流会のお手伝いしてもらい一緒に研修実施予定。

ガイドライン研修:各区で実施。講師は中央訪問看護ステーション⇒統一した研修が行える。

・病院と在宅の交流会 (去年までは2月に実施) ZOOMでは難しいので会場を抑えないといけない。産業会館か中央区民センターか国立がんセンターでどうか? (空き情報を若林さんに確認してもらう)

日時は金曜日で検討。

・災害時の連絡網がない⇒今後どのツールを使ってやるのか検討必要・・災害委員と検討

### 4、指示書についての対応方法 (ブロックとして、区として?)

訪問看護の指示書の依頼のついての件で、病院は利用者から指示書料をもらっており、その中に郵送代も含まれるとの見解。しかし、現状は返信用封筒に切手を貼って送らないと返信してくれない。ほかのステーションはどうしているのか?

中央区:統一できている。切っても封筒も準備しない。

他ブロックの情報:コーディネーターを通じて医師会へ依頼したとの報告あり。

協会の対応として:現段階では様子を見る。何か行動(医師会に働きかける)する時は協会に一報を入れるようにする。

市東ブロックはブロック→各区としてアプローチする。依頼文章を箕迫さんに作成依頼。作成後各区の在宅担当の理事へ依頼する。

5、ZOOMによるブロック会参加の謝金について等（40000円の使用方法）

- ・ZOOM会議参加費として500円（交通費支給）
- ・発電機、蓄電池の研修は定期的には実施ないといけないのではないか？（4つの拠点ステーションにはマニュアルがあるが各ステーションには配布はない。）→拠点ステーションが研修を行うのではなく協会の方に講師をしてもらうようにしてここに費用を使うようにするのはどうか？

6、今後の会議方法（集合かZOOM）

- ・ZOOMと少人数会議を必要に応じてやっていく。

次回の会議までの検討事項

- 「病院と在宅の連携交流会」のテーマを考える。
- ・病院の方々に訪問看護の制度を知ってもらう。
- ・訪問看護師からすると顔の見える連携づくり、コロナの渦の中どのように連携していくか？
- ・密にならないようにするにはどのような交流会にするのか？

次回の会議：10月20日18:00～ZOOM会議